

龍蔵先生の手づくりカメラ

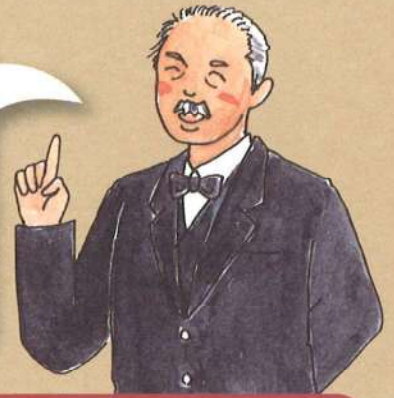
みんな、こんにちは！ 私は鳥居龍蔵だよ。

私は、1896年(明治28)、台湾の調査をしたとき、日本人の野外調査では初めてカメラを使った。現地の人たちのくらしぶりを撮影したんだ。

みんなにも、カメラや写真のおもしろさを知ってほしくて、手づくりカメラキットを用意したよ。がんばってつくってみようね。

私の調査活動のことは、『みんなで学ぼう!鳥居龍蔵』に紹介されているから読んでみてね!

平成21年度文化庁美術館・博物館活動基盤整備支援事業「阿波の先人を通じたふるさと学習プログラムの開発」(徳島県立博物館)



①カメラをつくりましょう

- ①用意するもの のり、ガムテープ、セロハンテープ、両面テープ、ステープラー(ホッチキス)、レンズ(焦点距離10cm前後、直径3.5~4cm程度)、トレーシングペーパー
- ②A~Fを、ミシン目にそって切りぬきます。また、パーツ内にミシン目がある場合は切りぬいておきます。
- ③Aの穴うらにレンズを固定します。その後、二つ折りしてしっかりとじます。そして、Cの穴に合わせてはりつけます。
- ④Eの手前側のうらにトレーシングペーパーをはってから組み立てます。そして、Dの穴に合わせてはりつけます。
- ⑤C・Dを組み立て、Cの中にDを差しこむとできあがりです。

②撮影しましょう

- ①用意するもの 感光紙、両面テープ、アイロン
- ②Dを前後に動かしてピントを合わせます。
- ③撮影するものが決まったら、Eに感光紙をはりつけます。その上にFを重ねてDに差しこみます。
- ④Fをぬいたら撮影が始まります。撮影時間は季節や場所によってちがいます。晴れた日の屋外なら10分程度で撮影できます。何度か試してみましょう。
- ⑤撮影が終わったら、アイロンなどで感光紙に熱を加えましょう。写真が出てきますよ。

